

安倍改造内閣に望む

社団法人 関西経済連合会

わが国経済は好調な企業収益を背景に、緩やかな拡大を続けているものの、人口減少・少子高齢化の進展に伴う経済社会の活力低下、760兆円を超える公的債務残高など、先行きを取り巻く環境は決して楽観視できない。さらに、昨今の急激な円高・株安による影響も懸念される。

安倍改造内閣には、先般の参院選における有権者の厳しい審判を厳粛に受け止め、与党一致団結して、国民の将来不安と政治不信の払拭に全力で取り組んでもらいたい。また、政策について国民の理解が得られるよう、ていねいかつ十分な説明を行ってほしい。

政局の混乱や政治の停滞によって、経済に悪影響が出るようなことがあってはならない。政府・与党は、政治の透明性と公開性を高めるとともに、野党との柔軟な政策協調を含め、一層のスピード感をもって改革を断行すべきである。

当連合会は、とりわけ以下の政策課題に重点的に取り組むことを望む。

1. 効率的で小さな政府の実現と民間活力の向上（徹底した官の構造改革、企業の国際競争力強化に資する税制改革、国民が納得・信頼し得る社会保障制度の確立など）
2. 真の地方分権改革、地域活力の向上による格差の是正（道州制導入を前提とした国・地方の役割の抜本的見直し、権限・財源の大幅な地方への移管、地域の努力が報われる制度の構築など）
3. アジアはじめ諸外国との共生（EPA交渉の加速や東アジア自由経済圏の形成促進、陸海空を総合化した国際物流拠点整備によるアジア・ゲートウェイ構想の推進、真に実効ある地球温暖化対策の推進など）

以上